

1

夏休みの勉強で、自分が得意とする「軸」をつくろう！



夏休みに入ったばかりの7月24日。この日は朝から1年生62名が宇都宮短期大学附属高校のキャンパスに集まり、短期集中講座が行われました。9時～16時までと、いつもより長めの時間を取って行われた今回の授業。生徒たち何を学び、どんな気づきを得たのでしょうか。参加した生徒の感想と併せて、授業の様子をレポートします。

成績アップのために＜効率的な勉強の型＞を身に付ける

いつもの教室に集まった62名の生徒たち。この日教壇に立ったのは、現役東大生、教育学部の永田講師と、理科三類の榎本講師と、理学部の亀田講師です。授業はまず挨拶からスタート。

「宜しくお願いします！」という生徒たちの元気な声が、夏休みの学校に響きわたります。まっすぐに前を見つめる生徒たちに向かって、永田講師はこう話しかけました。

「＜学ぶ＞という言葉は、＜真似る＞という言葉が語源だということを知っていますか？成績をアップするためには、良い勉強の型を真似ることが大切です。今日はみんなで、効率的な勉強の型を身に付けましょう」。

ここで生徒たちに、数学の期末テストのやり直しが出題されました。制限時間は15分。みんな本番のテストさながら、真剣に問題に取り組みます。10分ほど経つと問題を解き終わる生徒もちらほら現れ、解答について周囲の生徒と話し合っている様子が見られました。

そして、解答発表の後は、問題の答えについてグループごとに話し合うワークが行われます。

「ここはこの公式を使えばいいよね」

「この問題は難しかったよね」

教室のあちらこちらから、真剣に話し合う生徒の声が聞こえてきます。間違えた生徒に正解した生徒が説明するなど、みんなで楽しみながら解答を振り返っている姿がとても印象的でした。

ひと通り問題を解き終わったところで、問題解説に入ります。

「ただ公式を使うのではなく、なぜその式を使うのか人に説明できるようにしましょう。間違えたところから学ぶ姿勢こそが「勉強」であり、これから出会う類題つなげていくことが大切です。」

永田講師からの説明に深く頷く生徒たち。1人1人が自分の課題を見つけられたようです。休み時間もクラスメイトや東大生に積極的に質問するなど、そんな頼もしい生徒の姿を見て、永田講師、榎本講師、亀田講師もとても嬉しそうな表情を浮かべていました。

夏休みの勉強で、自分が得意とする「軸」をつくろう！

そして、次に紹介されたのが、夏休みの時間の使い方です。

「夏休みが40日あるとして、1日5時間勉強すれば、 40×5 で合計200時間も勉強することができます。1日遊びに行く日は3時間、午後遊ぶ日は5時間、どこにも行かない日は7時間勉強すれば、平均で5時間勉強できますよね。1日は意外とうまく使えるということを知っておいて欲しいと思います」と永田講師。

せっかくの夏休みなので、メリハリをつけて勉強時間を確保することが大切なのだ話し、さらにこう続けます。

「みなさんは1年生なので、受験勉強をするには少し早いかもしれませんが。なので、この夏休みはぜひ、自分の軸になるものを作る勉強をしてみてください。英単語なら誰にも負けないとか、数式なら誰にも負けないとか、科目は何でもOKです。そうやって得意を作ることが自信につながりますので、みなさんぜひチャレンジしてみてください。」

そんな永田講師の言葉を聞き、夏休みの勉強に新たな目標が見出した様子の彼・彼女たち。「どんな得意分野をつくろうか…」と思案している瞳は、きらきらと輝いて見えました。

また、残りの時間は、「関数大富豪」という数学の関数をゲーム感覚で学習する方法にチャレンジしました。

「学ぶことの楽しさを知ってほしい」と亀田講師。

トランプの大富豪をモチーフにしており、生徒たちにもとても親しみやすいゲームとなっており、数学の基礎となる計算力を楽しみながら高めることができました。

S I Yプロジェクトを通して、学ぶことの楽しさを身に付け始めている生徒たちだけに、どの時間でもみんな真剣そのもの。各々しっかりと自分の勉強に向き合っていました。





<生徒インタビュー>

模試は自分を見つめ直すものだと改めて気づきました

—今日の授業の感想を教えてください

Tさん：「関数大富豪」が特に印象に残っています。私たちに馴染みのあるトランプの大富豪を使って、数学の関数をととても分かりやすく楽しく学習することができてとても良かったです。ゲーム感覚で勉強の面白さを知ることができ、勉強への意欲がさらに高まりました。

— S I Y 授業のどんなところが面白いですか？

T さん：勉強方法をしっかり教えてくれるところ、アドバイスをしてくれるところです。東大生の方と直接お話しすることができ、今まで知らなかった具体的な勉強方法を教えていただくなど、新しいことが知れて勉強や目標に向けて大きな刺激となっています。

— S I Y 授業を受けて変わったことは？

T さん：勉強に計画性を持たせることができるようになりました。今までは特に意識せずに勉強に取り組んでいましたが、東大生の方から学習計画を目に見えるところに可視化することが大切だとお聞ききし、実践してみたところ、とても分かりやすくやる気にもつながってとても良かったです。

— 将来の夢や目標は？

T さん：現役で東大医学部に合格することです。S I Y プロジェクトの榎本講師は現役で東大医学部に合格しており、榎本講師のお話を聞いて、私も同じように夢を実現するという決意が固まりました。S I Y プロジェクトで学んだことを活かして頑張っていきたいです。



T さん